

川に学ぶ体験活動全国大会 in小川原湖

テーマ「生物多様性からつながる水辺の自然体験」

開催日：令和3年9月19日(日)

今年度の全国大会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴いオンライン開催に切り替えました。
それにより日程の変更等がありますので、ご注意ください。

小川原湖は、面積63km²、湖岸長67km、最大深度26m余りの青森県で一番大きな湖です。八甲田山系に源を発し、下流では高瀬川として太平洋に注ぐ、流程64kmの一級河川高瀬川水系小川原湖。その太平洋に注ぐ6kmの流程が、太平洋の干満に合わせ海水が行き来し、汽水湖という独特の生態系を作っています。

内水面漁場としても国内有数の規模を誇り、ワカサギ、シラウオなどは全国一の水揚げを誇り、中でもシジミは重要な産品として全国に出荷されています。

生物多様性に秀でている小川原湖では、全国でも珍しい汽水湖でのマリモが生息し、ほかにも絶滅危惧種の宝庫になっています。

すぐ近くにある根井沼では浮島があり、ラムサール条約に指定されている仏沼では野鳥観察、小川原湖はカヌー体験など自然体験のステージとしても様々な可能性を秘めています。

【基調講演】 演題 「齋藤流 川のトリセツ」

半世紀近く、遊びや研究テーマ、仕事場・憩いの場としてお世話になってきた「川」。これまでに200以上の河川湖沼を訪れ、様々な生きものや尊敬すべき変人方との出会い、RAC事務局長としての17年間の経験を含めて、肌感覚で考える「そうは言ってもさあ」と思われること必須の、無垢な思いを中心にお話しさせていただく予定です。

齋藤 隆氏 / ラ・フェリーチェ保育園園長 前RAC事務局長
昭和45年東京生れ。民間のまちづくりシンクタンク地域交流センターを経て、平成15年よりNPO法人川に学ぶ体験活動協議会(通称RAC)の事務局長を17年間歴任。公益財団法人等の役員や川での体験活動の普及や講座等の指導経験等を活かし、令和3年4月より茨城県つくば市の「ラ・フェリーチェ保育園」園長に就任。その他、NPO法人地域交流センター理事、NPO法人小貝川プロジェクト21副理事長、NPO法人つくばハーモニー理事長。

プログラム

- 9:00~9:20…オープニングセレモニー
東北町立甲地小学校児童による生き物たちの寸劇(ビデオ)
- 9:20~10:10…主催者挨拶、来賓あいさつ
実行委員長 相馬 孝 RAC代表理事 久住 時男
来賓挨拶 国土交通省 河川環境課 内藤氏
- 10:10~11:30…基調講演
演題:「齋藤流 川のトリセツ」 講師:齋藤 隆氏
ラ・フェリーチェ保育園園長 前RAC事務局長
- 11:30~12:30…昼食
映像放映(上北・下北)
- 12:30~13:40…事例発表
①東北町立甲地小学校(澤目 路子先生)
②宮城県仙台市 カワラバン(菅原 正徳)
③神奈川県鎌倉市 地球の楽校(長谷川 孝一)
- 13:40~15:00…パネルディスカッション
「生物多様性と自然体験のつながり」
(アドバイザー) 齋藤 隆氏 ラ・フェリーチェ保育園園長
(パネリスト) 澤目 路子 東北町立甲地小学校教諭
菅原 正徳 カワラバン
長谷川 孝一 (一社)地球の楽校
(コーディネーター) 相馬 孝 第20回川に学ぶ体験活動
全国大会in小川原湖実行委員長
- 15:00~15:30…各地に伝わる水と食文化等
川と食について ①青森県 シジミ汁ほか
②山形県鮭川村 鮭川の鮭の話
- 15:30~16:30…福永 真弓准教授のまとめ
東京大学大学院准教授
- 16:30~17:00…河川教育について
「学校に河川教育を位置づける3つの方法」
金沢 緑 日本河川教育学会会長 RAC学校連携部長

エクスカーションにつきましては来年の2月頃に開催予定

主催:第20回川に学ぶ体験活動全国大会in小川原湖実行委員会 後援:国土交通省
共催:NPO法人川に学ぶ体験活動協議会(通称 RAC) 協力:公益財団法人河川財団

【お問合せ】

第20回川に学ぶ体験活動全国大会in小川原湖実行委員会
〒036-0167 青森県三沢市根井1-94-1根井団体活動センター(小川原湖自然楽校)
TEL:0176-50-8611 FAX:0176-50-8612 E-mail:s-canoe@viola.ocn.ne.jp



この活動は公益財団法人河川財団の河川基金の助成を受けています。

お申込はFAXもしくは下記HPより
お申込ください。

FAX: 0176-50-8612

(氏名・団体名・住所・連絡先・
メールアドレスをご記載ください)

<http://www.rac.gr.jp/>